

「 $1+1=3$ 」の友達、「 $1+1=100$ 」のクラス・学年・学校行事

2026.9.1 校長 西谷 秀幸

(花火大会&プロジェクションマッピングの話)

長い夏休みが終わり、今日から2学期が始まりました。今年の夏休みは、45日間。皆さんにとって、どんな夏休みだったのでしょうか。ちょっと聞いてみましょう。

「楽しいことばかりだった」という人? 「楽しいこともあったけど、嫌なことやつまらないこともあった」という人? 「嫌なことやつまらないことが多かった」という人?

また、1学期の終業式に、夏休みは「見通しをもって計画的に過ごそう」という話をしましたね。さて、皆さんはどうだったのでしょうか。これも聞いてみましょう。

「見通しをもって計画的に過ごせた」という人? 「まあまあできた」という人? 「計画的に過ごせなかった」という人?

夏休みも終わり、今日からは2学期、新学期、新しい学習が始まります。のんびりして自由に過ごせたのは昨日までです。今日からは、学校のリズムに戻し、見通しをもって計画的に勉強や行事を進めていきましょう。

さて、2学期最初の今日は、算数の計算問題を出しますね。「 $1+1=$ 」…。答えは分かりますね。

正解は「2」です。算数の学習では、「2」以外の答えはあり得ません。でも、友達関係や学校生活では、「 $1+1$ 」が「3」とか「4」になることがあります。

例えば、勉強やスポーツ、運動会や音楽会などの行事に向けた取組などを友達と一緒にやったり、教え合ったりすることで、もっとできるようになったとき、「 $1+1$ 」の友達関係が「3」とか「4」になります。また、いい意味でお互いに競争をして、高め合ったときや、困っている友達を助けてあげたときなどにも「 $1+1$ 」は「3」とか「4」になります。

反対に、「 $1+1$ 」は「0」になったり、「0」より小さい「マイナス」になったりすることもあります。

例えば、授業中、1人のときはしっかりできるのに、友達と一緒にになると、おしゃべりをして勉強をしなくなると「 $1+1$ 」は「0」になります。さらに、ちゃんと勉強しているまわりの人たちの邪魔をすると、「 $1+1$ 」は「0」よりも小さい「 -1 」とか「 -2 」とかになってしまいます。

ですから、この2学期は、「 $1+1$ 」が「0」や「マイナス」になるのではなく、「3」や「4」、それ以上の数になるような、お互いに高め合える友達を作ってください。

同じことは、クラスや学年、学校行事でもいえます。例えば、「 $1+1+1+\dots$ 」と30回足すと算数では「30」になりますが、30人のクラスで、一人一人が友達と協力したり高め合ったりして、毎日楽しく過ごすことができれば、それが、「30」よりも大きい「50」とか「100」になってとても楽しいクラスになります。

2学期は運動会や音楽会などの学校行事がありますね。学年で力を合わせて取り組めば、例えば、60人の学年の演技や演奏が、「100」とか「200」の力をもって感動的な素晴らしい演技や演奏になりますよ。

反対に、お互いに悪口ばかり言ったり、ケンカばかりしたり、授業中におしゃべりや勝手なことばかりしたりしているクラスは、「0」や「マイナス」になって、楽しくない、居心地の悪いクラスになってしまうし、自分勝手なことばかりしたり、例えば「あの人も声を出していないから自分も声を出さなくていいや…」なんて学年の演奏は、他の人がいくら頑張っている、60人の演技や演奏が「20」とか「10」に聞こえてしまいます。

この2学期は、「 $1+1$ 」が「3」とか「4」になるお互いを高め合う友達を作るとともに、「 $1+1+1+\dots$ 」が「50」とか「100」になるクラスや学年、学校行事をみんなでめざして、楽しくて一人一人が成長する2学期にしましょう。

これで始業式の話が終わります。

(裏面に「先生方へ」があります)

長い夏休みが終わり、今日から2学期がスタートします。皆さん、ゆっくり心と体を休めて充電することができたでしょうか。

準備万端だとは思いますが、急加速・急発進は禁物です。最初の1週間「白銀の3日間」の予定をしっかりと立て、1学期に作った学級や授業でのシステムを確認しながら丁寧に進めてください。その際、作ってきたシステムがほころびているときにはすぐに修正する必要があります。「あとでもいいや、来週から修正すれば…」、これでは確実に崩れてしまいます。「修正はすぐに実行!」、これが2学期最初の原則です。その修正がうまくいかないときには、学年で協力して対処していきましょう。管理職への相談も含め、くれぐれも自分だけで抱え込むことがないようにしてください。

特に、生活規律と学習規律の確立を最重点にしましょう。「朝の会・(掃除)・給食・帰りの会」を丁寧に指導することが大切です。朝の会・帰りの会で、時間が長くなるのはNGです。短時間でテンポ良く進めていくと、生活規律の確立がスムーズに確率していきます。心掛けてください。

さて、「1 + 1 = 3の友達」は、私が担任の時代に、クラスの子供たちに伝えてきた内容でもあります。最後に担任をしたときのクラスだったでしょうか、あるとき、子供が「1 + 1 + 1 + …とクラスの人数を足したら100になるようなクラスにしたい」とみんなに話したことがありました。「お互いに高め合える友達」「みんなで高め合って作り上げるクラス・学年・学校行事」作りについて、各学級でも補足をお願いします。

夏休み明けは、子供たちの変化が大きく見られることがあります。そのため、始業式が終わるまでに、必ず子供たちの前に立って様子を一人一人の様子をしっかりと見てください。話を聞く時間も、前方から一人一人の様子を観察してください。これは健康管理上のことはもちろんですが、「始業式の朝の顔には、その子の休み中の様子が表れる」からです。

その理由は、話を聞いている様子をしっかりと見てみると分かります。担任と目線が合わない子、うつむき加減の子などは要チェックです。つまらない夏休みを過ごした子は話に集中せずに下を見ることが多いのです。夏休みに何かあった子は、担任と視線がなかなか合いません。ですから、始業式という短い時間に、クラスの子供たちの夏休みの様子を把握してください。

この表情は、始業式の後に消えて分からなくなると言われています。ですから、始業式の短い時間が勝負です。私たちはプロの教師ですから、教室内でどの位置で見るといいのかを考えてみてください。児童理解をする絶好のチャンスですから、みすみす逃すことにならないようにお願いします。

なお、始業式前に時間がありましたら、教室に子供向けのメッセージを書いておくといいですね。長い夏休みが終わり、子供たちが教室に入ったとき、「さあ、がんばるぞ!」という気持ちになるような言葉を書いていただけると、2学期のスタートが違ってくると思います。また、始業式後の学級指導では、夏休み中の病気やけがの有無、休み中にいじめがなかったかなどを確かめておいてください。必要に応じて、御家族の状況なども、できるだけ聞いておくことも大切です。

最初の週は、頭・体・心のすべてがきついと感じます。私たち大人も心身ともに体調を崩さぬよう、1つ1つよろしくお願いします。

【資料】白銀の3日間について

担任がクラスを組み立てる機会は年に3回あります。各学期のそれぞれ始めの3日間です。その最大の機会は、1学期最初の3日間（黄金の3日間）ですが、長い夏休みが終わった2学期は、休みモードから一気に学校モードへと切り替えをしなければならぬため、1学期に次いで重要です。ちなみに、この2学期始めの3日間は4月始めの「黄金の3日間」に対し「白銀の3日間」と呼びます。

「夏休みが終わった。さあ学校が始まるぞ。」という積極的な子供たち。「夏休みが終わってしまった。あ～あ、学校が始まるのか。」という消極的な子供たち。前者には学習システムの点検が、後者には学習の楽しさを味わわせることが大切です。

2学期は、一番長く学校生活が続きます。「楽しいクラス」「楽しい学校」になるように、最初の3日間でシステムを確認したり作り直したりし、ささいなことでも大いにほめて楽しいスタートをきってほしいと思います。